

い〜わくんの岩倉じまんツ!



今月は名古屋友禅で岩倉市初の伝統工芸士試験に合格した「桜井めぐみ」さんを紹介するイワ♪



皆さん、名古屋友禅をご存知ですか？ 名古屋友禅は、江戸時代から300年近く続く伝統工芸で、京友禅や加賀友禅と違ってさまざまな工程を分業にせず、デザインから染色までひとりで手がけます。

そんな歴史ある名古屋友禅の伝統工芸士として市内で活躍しているのが、桜井めぐみさんです。もともと別の仕事をしている桜井さんですが、呉服屋を経営しているお父さんからの一声

によりこの世界に足を踏み入れ、昨年、中京競馬のチャンピオンズカップの優勝馬に掛けられる優勝記念レイを作成し、注目を浴びました。

子どもの頃から絵を描くことが好きだった桜井さん。特に力を入れていたのは図案の作成で、ひとつの着物にだいたい50枚から100枚ほどの案を作成するそうで、物によっては図案に数年かけることも。物を平面でなく立体に捉えることが大切だと語る桜井さんは、イワシを買ってきて口の中を開いて観察したこともあるのだとか。

昨年12月の伝統工芸士試験に合格をした桜井さんに心境を伺うと、「すごく名誉なことですね、うれしいです。工芸士として恥じることのないよう日々頑張っています。ありがとうございます。」と答えていただきました。

広報モニターさんの

まちかどスナップ



1月18日、五条川河畔で岩倉の早春の風物詩であるのんぼり洗いが行われました。この日は、7匹のこいのぼりを水面に浮かべ、包丁やハケを使ってひとつひとつ丁寧にノリを落としました。
(写真 広報モニター山田 幸哉さん)

1月25日、五条川河畔で岩倉五条川桜並木保存会による桜の枯枝剪定作業が行われました。桜の老齢化が進むなか、施肥、剪定作業等地道な努力により桜の保全に努めていただき、感謝するしだいです。今年も美しい桜を見せてくれることを期待します。
(写真・文 広報モニター山田 幸哉さん)



この印刷は環境にやさしい植物性インキを使用しています。